

大津市センターの講座案内（2019年度前期）

☆ おおつ市民環境塾2019

- 講座2 講演会「エコな移動のすすめ」 6月29日(土)14:00から16:00
 場所：明日都浜大津ふれあいプラザ中会議室 定員：30名
- 講座3 講演会「CO₂削減 家庭でできること」 7月20日(土)14:00から16:00
 場所：明日都浜大津ふれあいプラザ中会議室 定員：30名
- 講座4 講演会「『ムダ』の排除とCO₂削減」 10月27日(日)14:00から16:00
 場所：明日都浜大津ふれあいプラザ中会議室 定員：30名

☆ 自然家族事業

- 「里の日」 サツマイモの収穫 10月19日(土) 場所：大將軍畑
- 「里山の日」 里山の樹木調査と名札付け 7月6日(土) 場所：春日山公園
- 「川の日」 大宮川探検 7月27日(土) 場所：日吉会館、大宮川
 大石川で生きもの探しをしよう 9月7日(土)
 場所：大石川の河原（大石緑地スポーツ村内）
- 「びわ湖の日」 湖の学校 8月3日(土) 場所：びわ湖大津館、湖岸
 カヌー体験と外来魚釣り 10月5日(土) 場所：雄琴

*お問い合わせ 大津市地球温暖化防止活動推進センター（077-526-7545）



5/25、菜種油をつくろう

センター通信

No.12

2019年度 夏号

「平成」から「令和」へ ～地球温暖化問題の変遷～ 大津市環境部長 山口 寿 氏

「平成」が終わり、「令和」が始まりました。新元号、新年度、新学期・・・新しいものには何かワクワクさせる力があります。この機会に、平成の30年間における地球温暖化問題の動きを大津市の取り組みとともに簡単に振り返ってみます。

地球温暖化については、19世紀に温室効果ガスが発見されて以来、科学的な解明が進められている途上ではありましたが、平成4年（1992年）、環境と開発に関する国連会議（地球サミット）において、国際政治の場での議論が始まりました。

平成9年（1997年）、「京都議定書」において温室効果ガスについて初めて具体的な削減目標が定められました。このことについてはマスコミでも大きく取り上げられ、会議会場周辺では市民団体等による会議やイベントも多数開催され、地球温暖化への関心は大きく高まりました。

平成12年（2000年）、大津市は地球環境問題に対する地方公共団体としての行動計画である「アジェンダ21 おおつ」を策定し、温室効果ガスの削減目標を定めました。その翌年、「おおつ環境フォーラム」が設立され、川や里山、エネルギーなどをテーマとしたプロジェクトが複数立ち上がり、市民、事業者、行政が協働で事業を推進する仕組みが整えられました。その後、地球温暖化対策として、大津市自らが事業者として環境マネジメントシステムを通じたエネルギー削減に取り組んだり、市有施設への太陽光発電システムの設置を進めるほか、「おおつ環境フォーラム」の協力のもと、エコフェスタやエコライフデー等を通じた啓発活動を実施してきました。

平成27年（2015年）、国連において「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択され、17の世界共通目標の1つに「気候変動に具体的な対策を」が示され、同年、「パリ協定」においては、地球温暖化に関する新たな目標が設定されました。

平成28年（2016年）、国は「地球温暖化対策計画」を定めました。また、同年4月、大津市は「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、「おおつ環境フォーラム」を「大津市地球温暖化防止活動推進センター」として指定しました（3年間）。同センターはイベントや講座の開催などを通じて地球温暖化対策に関する普及啓発を行っています。

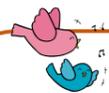
平成30年（2018年）、これまでの温暖化対策の積み重ねを背景に、大津市は「世界首長誓約／日本」への参加を求められたことから、その趣旨に賛同し、署名を行いました。「パリ協定」の目標達成に地域から貢献することを宣言するものです。

振り返りますと、「平成」は地球温暖化が地球環境問題として認識され、各国の協力のもと、解決をはかる準備が整えられた30年でした。大津市におきましても、市民、事業者のみならずとも新たな技術を取り入れながら、地球温暖化問題に取り組んできました。

そして、平成31年・令和元年（2019年）、「おおつ環境フォーラム」の活動実績及び事業計画が評価され、「大津市地球温暖化防止活動推進センター」の2期目がスタートしました。現在、大津市では地球温暖化対策を含む次期環境基本計画の策定準備を進めているところです。「令和」が、地球温暖化対策が大きく進んだ時代と言えるよう、市としての責務を果たし、また、市民、事業者のみならずともご理解とご協力を賜りたいと存じます。



休日は薪作りを楽しんでいます。



おおつエコフェスタ2019

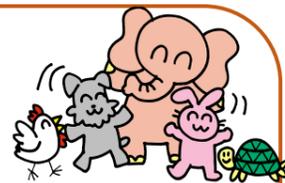
～涼しいところにみんなで集まりエコを学ぼう～

日時：7月28日（日）10:30～15:00

場所：ピアザ淡海3F

毎年たくさんのご家族連れに来場いただいている環境やエネルギーなどについて楽しく学べるイベント「おおつエコフェスタ」を今年度も7月28日（日）に開催します！

環境やエコ、エネルギーについて、実験やクイズをしながら、家族みんなで楽しく体験できるブースがいっぱい！



おおつ環境プラットフォーム事業

現行の「大津市環境基本計画」が改定期を迎えます。2021年度からの次期計画の策定にあたり大津市が取り組むべき目標について市民・事業者・行政が一堂に会して、多くの関係者のご意見をお聞きするワークショップを開催します

開催日は令和2年2月1日（土）の予定です。

現行の基本計画は右のQRコードからご覧になれます。



大津市地球温暖化防止活動推進センター（特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム）
 〒520-0047 大津市浜大津4-1-1 明日都浜大津4F Tel: 077-526-7545 Fax: 077-526-7581
 E-mail: info@otsu.ondanka.net HP: http://otsu.ondanka.net/ 編集責任: 森口 行雄

新設・大津市のガス小売事業者「びわ湖ブルーエナジー」を訪ねる

大津市のガス小売事業は、2019年4月1日から「びわ湖ブルーエナジー株式会社」が行うこととなりました。ガスは市民の毎日の生活にとって大切なエネルギー源です。これからも低廉な価格で安心して使える都市ガスが確保されるよう市民は願っています。新規事業を開始した「びわ湖ブルーエナジー」を訪ね、お話を聞きました。

★なぜ、びわ湖ブルーエナジーが大津市に代わって、小売業務を行うのですか。

大津市にてガス事業の在り方について検討された結果、ガスの小売全面自由化への対応、安心して安全なガス事業における緊急保安体制を維持させる観点から、公営でガス事業を継続することは困難と判断され、官民連携による新会社での事業運営を公募されたので、大阪ガスをはじめとした3社の企業体で応募し、当企業体と大津市との共同出資による新会社にて事業を継承することとなりました。

当社は、①ガス小売、②大津市から任されたガス・水道・LPGの保安業務、③大阪ガス電力の代理店販売を実施しております。

一方、ガス導管の整備や管理、検針・料金回収等の事業、閉開栓の申し込み等の受付業務は引き続き大津市企業局が実施しています。

ガス販売を取り巻く状況は大きく変化していきませんが、今後も市民の皆様に安心してお使いいただける安全なガスをお届けいたします。

★大津市ではどれくらいの量のガスが使われていますか。

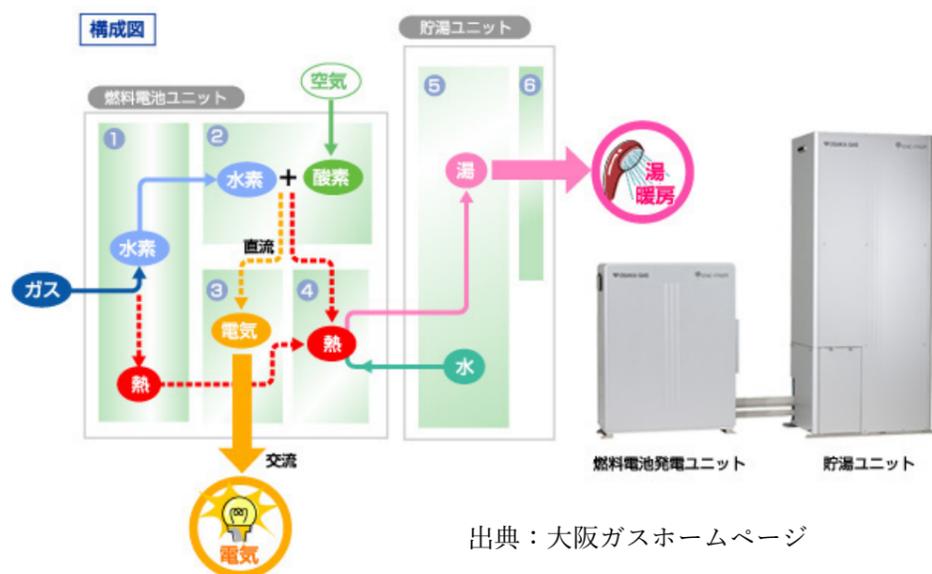
2019年3月末時点で、大津市の供給エリア内世帯数 約14万戸のうちガス供給戸数は約9万8千戸（普及率約7割）で、ガス販売量は約1億2千万 m^3 です。戸数から見ると家庭用が大多数ですが、約3千6百戸の業務用が含まれており、業務用の販売量が全体の概ね4分の3を占めております。

★家庭における「賢いガスの使い方」について教えてください。

ガスの上手な使い方として、お風呂の浴槽にフタをすることが挙げられます。フタをすることでお湯の冷め方に大きな違いがあります。例えば一度沸かしたお風呂を4時間後に元の温度になるよう追い炊きすると（外気温20℃の場合）、お風呂にフタをしていると、約8.9円で済みますが、フタをしないと、お湯の温度の下がりが大きく、約28.8円かかってしまいます。CO₂の削減という観点で見ると、毎日フタをして保温に努めていただきますと、年間約121.3kg-CO₂の削減になるという試算があります。（大阪ガス調べによる）

また、もう一つお勧めしたいのが「エネファーム」です。エネファームとは、ガスから取り出した水素と空気中の酸素を化学反応させて家庭でも電気をつくることのできる燃料電池です。電気をつくる過程で発生する熱でお湯を沸かし給湯等に利用する熱電併用（コージェネレーション）システムと呼ばれる仕組みで、低炭素社会の実現に寄与する高効率なエネルギーシステムです。大阪ガスのエリア内では今年3月にエネファームの累計販売台数が10万台を超えており、大津市内でも多くのお客様にご利用いただいております。

燃料電池コージェネレーションシステムの構成図と装置について



★企業や事業所向けに推奨できる対策は？

業務用・産業用のガスコージェネレーションシステムの普及に努めております。熱の利用先の少ない建物等には、コージェネレーションで発生する熱を冷暖房に利用する空調システム（ジェネリンク）がお勧めです。

また、非常時の発電機としてもご利用いただけ、昨年の台風21号の停電時には、多くのお客様のお役に立つことができました。経済性と環境性だけでなく、非常時の事業継続性（BCP）確保の観点からも、事業者の皆様には、ガスエネルギーの更なる有効活用をご検討いただければと思います。

★貴社ではガスだけでなく電気の販売も行われるようですが、家庭や事業所にどのようなメリットがありますか。

当社では、大阪ガスの電気を代理販売しています。大阪ガスの電気は天然ガス火力を主な電源（約78%）として使っており、石炭火力を電源とする場合に比べCO₂の排出係数が低く、地球温暖化への影響を抑えることができます。

また、事業所の皆様には、ガス・電力のご提案だけでなく、ガスコージェネレーションシステム等の高効率エネルギーシステムの導入についても大阪ガスと共に、ご提案させていただいております。また、初期投資不要で、導入した設備の利用時間等に応じ、サービス料をお支払いいただく「EcoWave（エコウェーブ）」といったサービスも提案させていただいております。地球温暖化防止につながるCO₂削減は、ご家庭や事業所全てで取り組まなければならない課題と考えており、少しでも、皆様のお役に立てればと思っております。

★最後にガス・電気という大切なエネルギー資源を供給する企業として、地域にどう貢献するか貴社のお考えを教えてください。

当社は、大津市から承継したガス小売や保安業務を通じ、「住み続けたいまち大津」の実現に貢献したいと考えており、まずは、Daigasグループとして、小中学校の生徒さんを対象とした「食育」・「防災教育」・「環境教育」を進めていこうとしております。

生まれたばかりの会社ですので、皆様には、温かい目で見守っていただければと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

大津市地球温暖化防止活動推進センター（第2期）の指定を受けました。

2016年4月に始まった大津市地球温暖化防止活動推進センター（大津市センター）の第1期の指定期間（3年間）が終了し、第2期の指定が行われ、特定非営利活動法人おおつ環境フォーラムが引き続き指定を受け、2022年3月末までの3年間センター業務を担当します。加速する地球温暖化に対処し気候変動の影響を緩和するために、市民や事業者の皆様と協働して、さまざまな取り組みを推進します。地域の環境保全活動が成果をあげられるよう皆様のご協力をお願いします。



地球温暖化防止対策事例集「機器編」と「再生可能エネルギー編」を発行しました。

当センターでは今年2月～3月に「機器編」と「再生可能エネルギー編」を続けて発行しました。いずれもA5判のハンディな大きさで、手許において参考になる資料が掲載されています。「機器編」では温暖化防止に貢献できる家庭用機器の選び方・使い方を紹介しています。給湯・冷暖房・冷蔵庫・照明器具・テレビ・キッチンシステム・自動車・温水洗浄便座など多岐にわたって解説しています。「再生可能エネルギー編」では太陽光発電・蓄電池・太陽熱利用システム（温水器など）・バイオマス・地中熱利用を紹介しています。いずれの編も具体的な事例紹介もあります。ご関心のある方は大津市センターまでお問い合わせください。



「事業所での省エネ」お手伝いします！

～省エネでCO₂排出量を削減し、電気代・ガス代などを減らしませんか～

省エネの専門家が測定器を使って、電気、ガス等のエネルギーの使用状況を測定し、対象の建物や使用方法に沿った最適なエネルギー削減策を提案する「省エネルギー診断」を受診される事業所を募集します。

実施期間：7月から令和2年2月末までに随時

対象：企業、商店、事務所、マンション、福祉施設、工場など

費用：無料

申込方法：FAXまたはEメール（「事業所の省エネ診断」希望、事業所・団体名、担当者名、住所、電話番号を書いて）で大津市地球温暖化防止活動推進センターへ